

糖代謝系

品名	規格	コード No.	容量	希望納入価格(円)
Acrp30, Globular Domain, Mouse, recombinant (gAcrp30) Acrp30, 球状ドメイン, マウス, 組換え体	生化学用	017-19541	25 μg	39,000
Acrp30 は、アディポネクチンのマウスホモログです。アディポネクチン/Acrp30 は、脂肪組織より分泌されるアディポサイトカインで、TNF-αやレプチンと異なり、肥満と共にその血中濃度が低下することが知られています。最近、糖尿病マウスへのアディポネクチン補充が、インスリン抵抗性を改善したとの報告がされました。マウス Acrp30 球状ドメインは、145 アミノ酸からなる分子量 16.0kDa の Acrp30 分解物です。Acrp30 より強い活性をもちます。 エンドトキシン : 0.1ng/μg 以下	発現細胞			分子量
	大腸菌			16.0kDa
	形状 / 保管			法規
	凍結乾燥品 / -20°C			—
Leptin, Mouse, recombinant (OB) レプチン, マウス, 組換え体	細胞生物学用	121-05041	1mg	39,000
レプチンは、脂肪細胞由来の液性因子の1つです。ob 遺伝子より産生され飽食因子であると考えられています。その作用は、摂食の抑制、エネルギー消費の増加、LH, FSH, TSH の上昇、ACTH, NPY 産生の低下などが知られています。 従来脂肪組織は、エネルギーを貯蔵するだけの臓器と考えられていました。ところが、近年脂肪組織が様々な液性因子を分泌することが明らかになりつつあり、またそれらが摂食行動、エネルギー消費、糖脂質代謝、インスリン作用などに影響することから、肥満糖尿病、動脈硬化症、虚血性心疾患におけるその臨床的意義も注目されています。 ヒトレプチンは、マウスと 84% アミノ酸配列が一致します。 エンドトキシン : 0.1ng/μg 以下 活 性 : 2 種類の肥満モデルマウス、ob/ob、NZO に生物活性を示す。 14 日間、5 μg レプチン/g 体重を毎日腹腔内投与により処理。	127-05043	5mg	照会	
	発現細胞			分子量
	大腸菌			16.2kDa
	形状 / 保管			法規
凍結乾燥品 / -20°C			—	
Relaxin-3, Human, recombinant リラキシン-3, ヒト, 組換え体	細胞生物学用	189-02101	25 μg	39,000
リラキシン-3 は、主に脳や中枢神経で発現しており、インスリンと同様に A 鎖と B 鎖から成るサイトカインです。ソマトスタチン様またはアンギオテンシン様ペプチドの受容体として知られている GPCR135 受容体のリガンドとして同定され、LGR7 受容体の特異的なリガンドであることが認められました。Wistar Rat において、リラキシン-3 の脳室内注入により、摂食量および体重の顕著な増加が認められました。 成熟ヒトリラキシン-3 は、ブタと 96%、イヌと 94%、マウスと 92% アミノ酸配列が一致します。 エンドトキシン : 0.1ng/μg 以下	発現細胞			分子量
	大腸菌			5.5kDa(heterodimer)
	形状 / 保管			法規
	凍結乾燥品 / -20°C			—
RELM-α, Mouse, recombinant RELM-α, マウス, 組換え体	細胞生物学用	185-01841	25 μg	39,000
RELM (Resistin-like Molecule α) は、脂肪細胞から分泌されるアディポサイトカインの一つです。レジステンと高い相同性を示します。機能についてはまだわかっておりません。 エンドトキシン : 0.1ng/μg 以下	発現細胞			分子量
	大腸菌			10.0kDa
	形状 / 保管			法規
	凍結乾燥品 / -20°C			—
RELM-β, Human, recombinant RELB-β, ヒト, 組換え体	細胞生物学用	189-01861	25 μg	39,000
RELM-β は、アディポサイトカインと呼ばれる脂肪細胞分泌タンパク質の一つで、89 アミノ酸の 2 本鎖からなる 19.0kDa の二量体タンパク質です。 エンドトキシン : 0.1ng/μg 以下	発現細胞			分子量
	大腸菌			19.0kDa(homodimer)
	形状 / 保管			法規
	凍結乾燥品 / -20°C			—

品名	規格	コードNo.	容量	希望納入価格(円)
Resistin, Human, recombinant レジスチン, ヒト, 組換え体 	生化学用	187-01801	25 µg	39,000
<p>近年、エネルギー貯蔵庫としての役割しか知られていなかった脂肪組織が、アディポネクチン、レプティン、レジスチン、TNF-αなどの内分泌因子(アディポサイトカイン)を産生、分泌し、糖代謝や脂質代謝、動脈壁の恒常性維持に重要な役割を果たしていることが証明されました。これにより、肥満症が糖尿病・高脂血症・動脈硬化症等の生活習慣病の危険因子であることが明確になりつつあります。</p> <p>レジスチンは、脂肪細胞から分泌される2つの92アミノ酸ポリペプチド鎖からなる分子量19.5kDaの二量体タンパク質で、インスリン抵抗性惹起物質として注目されています。骨格筋、肝細胞および脂肪細胞自身に対してインスリン抵抗性を示し、II型糖尿病を引き起こします。</p> <p>成熟ヒトレジスチンは、マウスと56%、ラットと54%アミノ酸配列が一致します。</p> <p>エンドトキシシン : 0.1ng/µg以下</p>	発現細胞	分子量		
	大腸菌	19.5kDa(homodimer)		
	形状 / 保管	法規		
	凍結乾燥品 / -20°C	-		
<p>参考文献…1) Steppan, C. M. <i>et al.</i> : <i>Nature</i>, 409, 307 (2001)</p>				
Resistin, Mouse, recombinant レジスチン, マウス, 組換え体 	生化学用	184-01811	25 µg	39,000
エンドトキシシン : 0.1ng/µg以下	発現細胞	分子量		
	大腸菌	20.2kDa(homodimer)		
	形状 / 保管	法規		
	凍結乾燥品 / -20°C	-		
Visfatin, Human, recombinant ビスファチン, ヒト, 組換え体 	細胞生物学用	223-01931	25 µg	39,000
<p>ビスファチンは、内臓脂肪細胞で合成・分泌されるアディポカインの一種です。II型糖尿病患者や、肥満疾患とは異なるナルコプレイシー患者において血中濃度の上昇が見られることが報告されています。</p> <p>膵臓から分泌されるインスリンのようにインスリン受容体と相互作用し、血糖低下作用を発現することが知られています。</p> <p>エンドトキシシン : 0.1ng/µg以下</p> <p>活性…ED₅₀ : 15.0-20.0ng/mL RPMI 8226 細胞株における用量依存的増殖刺激による。</p>	発現細胞	分子量		
	大腸菌	52.5kDa		
	形状 / 保管	法規		
	凍結乾燥品 / -20°C	-		